

履修コード/科目名称	214201 / 学習・発達論		
開講年度・期	2019年 前期	開講曜日・時限	金曜日 3時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	吉野 さやか (ヨシノ サヤカ)		
副担当教員氏名(カナ)			

授業概要	<p>本講義では、教育心理学の基礎理論や知見を学び、教育実践の上で不可欠な人間発達・学習に関する理解を深める。発達・学習についての基礎理論に加えて、各発達段階の心身の多面的な発達に関して学び、それを踏まえた学習スタイルや主体的な学習を支える指導のあり方を考える。さらに、生涯発達に関して学び、障害をもつ人々の発達・学習支援といった問題にも触れる。</p> <p>受講者の理解を深めるため、リアクションペーパーを活用し、講義内容の理解度を毎回確認し、必要に応じて次回講義時にフィードバックを行なう。また、講義内容に応じ、疑似体験等の参加型学習を取り入れ、受講者の主体的な学びを促す。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>よりよい教育実践を考えるにあたっては、子どもの心身の発達及び学習の過程に関する理解が必要となるが、その際には人間に対する心理学的な捉え方が役立つ。心理学の様々な領域の中でも、特に教育心理学は、教育現場での効果的な実践を考える上で有用となる。本講義では教育心理学に関する基礎理論やさまざまな知見について扱う。受講者が、教育心理学を学ぶことを通して、乳幼児・児童・生徒の心身の発達及び学習の過程に関する基礎的な知識を得て、人間の発達・学習に関する理解を深め、各発達の段階における心理的特性を踏まえた効果的な学習指導を考える力を身に付けることを目標とする。</p>		
授業スケジュール	第1回	イントロダクション 教育心理学とは(教育、発達、学習の関係をめぐって)	
	第2回	発達に関する基礎理論(発達の規定要因、発達段階と発達課題)	
	第3回	身体・運動、認知、パーソナリティの発達	
	第4回	言語、情動、社会性の発達	
	第5回	生涯発達	
	第6回	記憶と忘却	
	第7回	学習に関する基礎理論(連合説と認知説)	
	第8回	学習への動機づけ	
	第9回	学級集団と学習	
	第10回	学習の評価	
	第11回	享受法、学習法と学習スタイル	
	第12回	知能	
	第13回	障害のある幼児・児童・生徒の発達と支援	
	第14回	人間の欲求と防衛機制(よりよい教育実践を考えるために)	
	第15回	まとめ・理解度の確認テスト	
準備学習	予習は特に必要としないが、復習を積極的に行うこと。		
履修上の留意点等	個人またはグループワークを多く取り入れるため、積極的に参加すること。		
成績評価の方法	50%	試験	
	50%	レポート	
		小テスト	
		平常点	

教科書/テキスト	特に使用しない。授業時に使用資料を配付する。	
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業中に適宜紹介する。	
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業中のグループワークやアクティビティが好評だったため、今年度も多く取り入れたい。 また、毎回のリアクションペーパーにて得られた意見や質問を翌週の授業に反映させることで、引き続き、双方向的な授業展開に取り組みたい。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		